



令和 8 年 3 月 10 日
午前 8 時 30 分 受領
No. 1

議長	事務局長	係

令和 8 年 3 月 10 日

愛南町議会議長 吉田 茂生 殿

愛南町議会議員 嘉喜山 茂

一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

質 問 の 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
<p>1 南宇和高校の魅力化推進について</p> <p>南宇和高校は町内唯一の高校であり、長年にわたり地域の人材を育成してきた重要な教育拠点である。その存続と発展は本町の将来にとって極めて重要な課題であると考えている。</p> <p>少子化の進行により地方の高校における生徒の確保は、全国的な課題となっている。こうした中、南宇和高校では令和8年度から地域みらい留学制度を活用した全国募集を開始する予定である。</p> <p>本町ではこれまで、南宇和高校教育振興協議会への補助を通じた短期海外研修費補助や就学支援、各種検定料補助などを行うとともに、令和4年度には公営の学習支援施設である南光叶夢センターを開設するなど、高校魅力化に向けた取組を進めている。</p> <p>今後、全国から生徒を受け入れるためには、学習環境の充実に加え、生活環境を含めた受入体制の整備が重要になると考える。</p> <p>以上を踏まえ、次の点について質問する。</p> <p>① 南光叶夢センターの利用状況と教育的効果の評価、並びに、今後の運営課題と方向性及びこれまでの魅力化施策の成果と評価</p> <p>② 地域みらい留学制度による全国募集への町の支援方針</p> <p>③ 学生寮整備における建設場所や整備内容の検討状況と今後のスケジュール</p>	教育長

2 人口減少社会における生活支援と環境行政について

町長

本町は豊かな海や山などの自然環境に恵まれており、これらは住民生活や地域産業を支える重要な資源である。この環境を守り、次の世代へ引き継いでいくことは重要な責務であると考え

る。

一方で、人口減少や高齢化の進行に伴い、地域社会の状況は大きく変化している。ごみやし尿の排出量の変化、処理費用の増加に加え、担い手不足や地域コミュニティの弱体化など、環境行政を取り巻く課題は多様化しており、高齢者世帯や独居世帯の増加により、ごみ出しなど日常生活における負担が大きくなるケースも指摘されている。

人口減少社会においては、限られた人員や財源の中で環境行政を持続可能な形で運営していくとともに、地域の実情に応じた環境施策を効果的に進めていく視点が重要であると考え

る。

以上を踏まえ、本町の環境行政の現状及び今後の環境施策の取組について質問する。

- ① ごみ排出量の現状と過去の推移及び今後の見通し、並びに、ごみの減量化・資源化に関する環境施策
- ② ごみ出し困難世帯の実態把握と生活支援の現状並びに今後の方針
- ③ し尿処理量の現状と過去の推移並びに今後の見通し
- ④ 人口減少社会に対応した本町の環境行政の方向性